

2005 年 2 月 9 日

e ワラント誕生 5 周年の感謝をこめて
「約定代金 20 万円未満手数料無料キャンペーン」3 月 1 日より開始

ゴールドマン・サックス証券会社(社長:持田昌典、トーマス・K・モンタグ、所在地:東京都港区;以下「ゴールドマン・サックス証券」)が提供する個人投資家向け投資商品「e ワラント」を販売する取扱証券会社各社はゴールドマン・サックス証券と共催で、「e ワラント 5 周年記念 約定代金 20 万円未満手数料無料キャンペーン」を 2005 年 3 月 1 日(火)より 1 ヶ月間実施します。

e ワラントが登場してから、おかげさまで今年で 5 周年を迎えることができました。国内株式・国内株価指数をはじめ、海外株式・海外株価指数を対象とした豊富な品揃えで「ハイリスク・ハイリターンな取引を少額投資から」をモットーに展開して参りました。このご愛顧に感謝し、3 月 1 日から 3 月 31 日の 1 ヶ月に亘り、当キャンペーンを行います。

「手数料無料キャンペーン」概要

以下の通り、取扱証券会社により若干取扱いが異なります。また、ポケット株の取り扱いがある場合においては、ポケット株も本キャンペーンの一環として手数料無料の対象とします。

[1 取引当たりの当該商品の取引金額が 20 万円未満の取引に掛かる手数料が無料]

松井証券株式会社(社長:松井道夫、所在地:東京都千代田区)

カブドットコム証券株式会社(社長:齋藤正勝、所在地:東京都中央区)

[1 取引当たりの当該商品の取引金額が 20 万円以下の取引に掛かる手数料が無料]

楽天証券株式会社(社長:國重惇史、所在地:東京都港区)

[1 取引当たりの当該商品取引金額が 20 万円以下の取引に掛かる手数料をキャッシュバック]

日興ビーンズ証券株式会社(社長:小笠原範之、所在地:東京都中央区)

[1 取引当たりの当該商品取引金額が 20 万円未満の取引に掛かる手数料をキャッシュバック]

イー・トレード証券株式会社(社長:井土太良、所在地:東京都港区)

「手数料無料キャンペーン」実施期間

2005 年 3 月 1 日(火)9:00 ~ 2005 年 3 月 31 日(木)23:50 まで

「手数料無料キャンペーン」の各取扱証券会社での取扱いの詳細については個別にお問い合わせください。

イー・トレード証券株式会社 URL <http://www.etrade.ne.jp/>

カブドットコム証券株式会社 URL <http://kabu.com/>

日興ビーンズ証券株式会社 URL <http://www.nikkobeans.co.jp/>

松井証券株式会社 URL <http://www.matsui.co.jp/>

楽天証券株式会社 URL <http://www.rakuten-sec.co.jp/>

(50 音順)

「手数料無料キャンペーン」の詳細につきましては、下記ホームページをご覧ください。

URL <http://www.ewarrant.co.jp/>

「e ワラント」の投資商品としての主な特徴

1. 株式投資に比べて一般に大きなリターンの可能性に挑戦できます。
2. 9:00 から 23:50 まで取引可能です。(e ワラントの銘柄により、又は取扱証券会社によって取引時間が異なる場合があります)
3. 少額投資が可能です。

「e ワラント」の概要

- 対象原資産:国内個別株式、国内外株価指数、バスケット、為替リンク債券(米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドル、英ポンド)
- 取引時間:9:00 - 23:50(昼休みも取引可能。但し、e ワラントの銘柄により、又は取扱証券会社によって取引時間が異なる場合があります)
- 満期:3 ヶ月-6 ヶ月程度
- 最低必要資金:約 5,000 円から 10,000 円程度 (1 単位あたり約 5 円 ~ 10 円)
- 取引単位:1,000 ワラント単位
- 取引価格:ゴールドマン・サックス・インターナショナルが売値・買値を決定する
- 取引決済:取引日の 3 営業日後(株の売買と同様)

- 配当金等： 配当金、株主優待はありません。但し満期日までの予想受取配当金は予め購入金額の計算に織り込まれています。
- 主なリスク
 - 価格変動リスク：

一般に対象原資産に比較して価格変動リスクが高く、損失の可能性が極めて高いものになっています。
 - 信用リスク：

発行者のゴールドマン・サックス・インターナショナル及び保証者のザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが破綻などの事態に陥った場合には、権利の一部または全部が支払われないことがあります。
 - 取引停止リスク：

システムに異常が生じた場合や、対象株式の売買が停止している場合、その他ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行わない場合などには、取引ができません。
 - 税務リスク：

総合課税となります。また、将来税制が投資家に有利、又は不利に変更される可能性があります。
 - 決済リスク：

事務手続きのトラブル、決済機関のトラブル等により、購入代金の払い込み、売却代金の受取りに支障をきたす可能性があります。
 - ミストレード：

「カバード・ワラントのミストレードに関する規定」で定める内容に従い、取扱証券会社から投資家にミストレードの通知がなされた場合には、本規定の手続きにしたがって当該ミストレードは取り消されます。

なお、リスクの詳細につきましては、eワラント ホームページ上の「必ずお読みください」をご覧ください。

ゴールドマン・サックス証券会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となる。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。